

2021 年度前期
「授業改善のための学生アンケート」結果報告書

白百合女子大学

目 次

1. 2021 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要	
① 目的	1
② 実施概要	1
③ 実施方法	1
④ 設定項目	2
⑤ アンケート画面	3
⑥ 実施科目数	4
2. 2021 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 集計結果	
① 学部	5
② 大学院	10
3. 2021 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 みなさんの声に応えて	
① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ	15
② FD推進委員会からのメッセージ	22
4. 2021 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 顕彰授業	
① 顕彰授業	23
② 顕彰授業における工夫	23

1. 2021 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的

- 1) さまざまな角度から学生の反応・実態を知ること、個々の授業の授業内容・教授方法等を、教員自身が見直し改善するための材料を提供する。あくまで教員の自発的な取り組みを助けるものであり、いかなる形においても、教員の評価・査定の資料とするものではない。
- 2) 設備や機材、資料など、学習に適した環境を大学がどの程度提供できているかを測定し、これを改善していくための材料を得る。
- 3) 学生が学びたい内容を適切なレベルできちんと教授できているかを知り、大学全体、あるいは学科や学年ごとのカリキュラム内容を、必要に応じて改善していくための材料を得る。
- 4) 科目に対する学生の意欲や、授業時間外での学習の実態を把握することで、カリキュラムが想定している努力を学生が傾けているかを測定し、必要に応じて改善の方法を探るための材料を得る。
- 5) 学生に対して、自らの学習のあり方を見直し、大学での学習をより実りあるものとするための材料を提供する。

② 実施概要

実施期間：2021年7月1日（木）～7月21日（水）

実施対象：原則としてすべての前期科目

※ただし、履修人数が5名以下の授業や、授業形態から考えて調査実施が困難な授業などについては、担当教員の申出により、調査対象科目から除外する。

調査方式：Campus Square（Web） 自由記述欄あり（p.4 参照）

※学部・大学院統一フォーム

調査所要時間：約 10 分

③ 実施方法

- 1) アンケート開始前、FD推進委員会より全学生に対し実施目的や回答期間等をCampusSquareにて掲示を行い、授業担当教員からも、学生に対し実施目的をよく読み回答を行うように掲示する。
- 2) 学生はアンケート締切日までに CampusSquare 内で回答をする。

④ 設問項目

- Q1 この授業にどの程度出席しましたか。
- Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。
- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたと思いますか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか。
- Q5 この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。
- Q6 この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。
- Q9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。
- Q10 この授業で課される課題の量は適切ですか。
- Q11 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。
- Q12 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。
- Q13 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q14 この授業の内容に興味を持つことができましたか。
- Q15 この授業の進度は適切でしたか。
- Q16 この授業の難易度は適切でしたか。
- Q17 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。
- Q18 教室の設備は適切でしたか。
- Q19 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。
- Q20 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。
- Q21 この授業について、良かった点を、自由に記述してください。
- Q22 この授業について、改善してほしい点を、自由に記述してください。
- Q23 この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。
- Q24 (教員より指示があった場合のみ記述してください) ※教員個別設定質問
- Q25 この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。
- Q26 (Q25で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述してください。
- Q27 この授業を遠隔授業として受講した(している)際の通信状態について教えてください。
- Q28 (Q27の回答がIIまたはIIIの場合のみ回答) 現在の通信状況について、具体的な状況、使用機器等を教えてください。

⑤ アンケート画面

アンケート作成/回答

タイトル 2021年度前期「授業改善のための学生アンケート」

Q1:この授業にどの程度出席しましたか。【4者択1】

I. すべて出席した
 II. 半期で1～2度欠席した
 III. 半期で3～4度欠席した
 IV. 半期で3分の1以上欠席した

Q2:(大学課科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。【5者択1】

I. 週2時間以上
 II. 週1～2時間
 III. 週30分～1時間
 IV. 週0分～30分
 V. 全くしていない

Q3:この授業に主体的に取り組むことができましたか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも言えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q4:この授業の内容を十分に習得できたか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも言えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q5:この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも言えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q6:この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも言えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q7:教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも言えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q8:教科書や配付資料など、教材は適切だったか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも言えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q9:(大学課科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも言えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q10:この授業で課される課題の量は適切ですか。【5者択1】

I. 多すぎる
 II. どちらかと言えば多い
 III. ちょうど良い
 IV. どちらかと言えば少ない
 V. 少なすぎる

Q11:学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも言えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q12:教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも言えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q13:この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも言えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q14:この授業の内容に興味を持つことができましたか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも言えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q15:この授業の進度は適切でしたか。【5者択1】

I. 進すぎる
 II. どちらかと言えば速い
 III. ちょうど良い
 IV. どちらかと言えば遅い
 V. 遅すぎる

Q16:この授業の難易度は適切でしたか。【5者択1】

I. 努力したが理解できなかった
 II. 理解するのに多大な努力を要した
 III. 適度の努力で理解できた
 IV. ほとんど努力せずに理解できた
 V. 新たに学ぶことはなかった

Q17: (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。【5者択1】

I. 多すぎる
 II. どちらかと言えば多い
 III. ちょうど良い
 IV. どちらかと言えば少ない
 V. 少なすぎる

Q18: 教室の設備は適切でしたか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも考えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q19: 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも考えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q20: 最後にこの科目の総合評価をさします。この授業を履修したことに満足していますか。【5者択1】

I. 強くそう思う
 II. どちらかと言えばそう思う
 III. どちらとも考えない
 IV. どちらかと言えばそう思わない
 V. 全くそう思わない

Q21: この授業について、良かった点を、自由に記述してください。【記述式 1000文字以内】

Q22: この授業について、改善して欲しい点を、自由に記述してください。【記述式 1000文字以内】

Q23: この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。【記述式 1000文字以内】

Q24: (教員より指示があった場合のみ記述してください) ※教員個別設定質問【記述式 1000文字以内】

Q25: この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。【2者択1】

I. はい
 II. いいえ

Q26: (Q25で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述してください。【記述式 1000文字以内】

Q27: この授業を遠隔授業として受講した(している)際の通信状態について教えてください。【3者択1】

I. 問題なく受信できている
 II. ときどき途切れることがある
 III. 頻繁に途切れて問題が生じている

Q28: (Q27の回答がIまたはIIの場合のみ回答) 現在の通信状況について、具体的な状況、使用機器等を教えてください。【記述式 1000文字以内】

⑥ 実施科目数

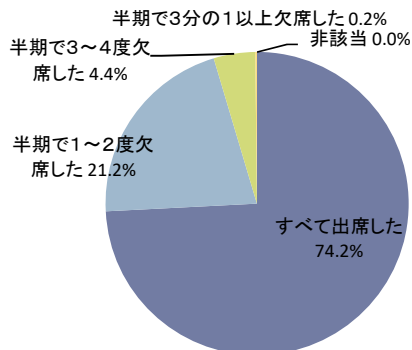
568 科目 (学部 562 科目、大学院 6 科目)

2. 2021年度前期「授業改善のための学生アンケート」の集計結果

① 学部

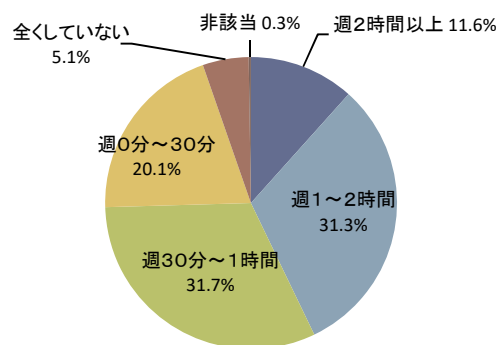
Q1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	3,502	74.2%
2	半期で1～2度欠席した	1,000	21.2%
3	半期で3～4度欠席した	209	4.4%
4	半期で3分の1以上欠席した	9	0.2%
5	非該当	0	0.0%
	合計	4,720	



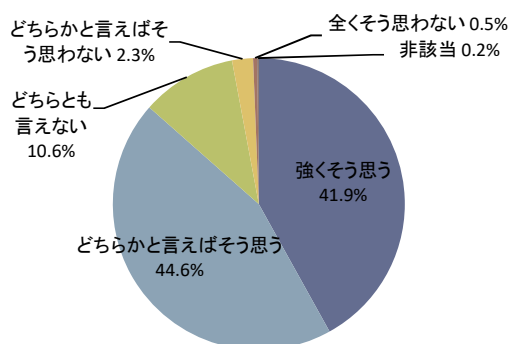
Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	550	11.6%
2	週1～2時間	1,479	31.3%
3	週30分～1時間	1,498	31.7%
4	週0分～30分	952	20.1%
5	全くしていない	240	5.1%
6	非該当	13	0.3%
	合計	4,732	



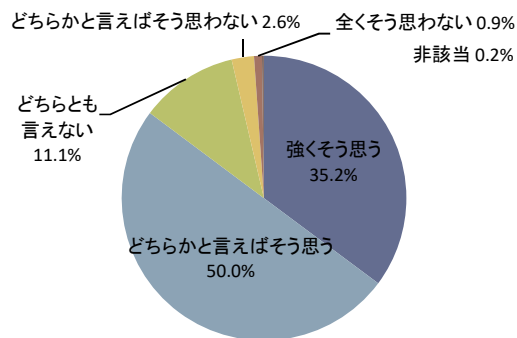
Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,984	41.9%
2	どちらかと言えばそう思う	2,109	44.6%
3	どちらとも言えない	500	10.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	109	2.3%
5	全くそう思わない	22	0.5%
6	非該当	8	0.2%
	合計	4,732	



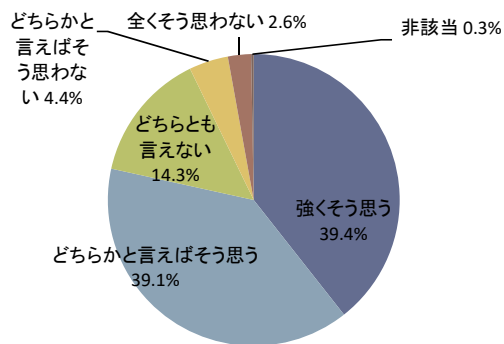
Q4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,665	35.2%
2	どちらかと言えばそう思う	2,367	50.0%
3	どちらとも言えない	526	11.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	121	2.6%
5	全くそう思わない	42	0.9%
6	非該当	11	0.2%
	合計	4,732	



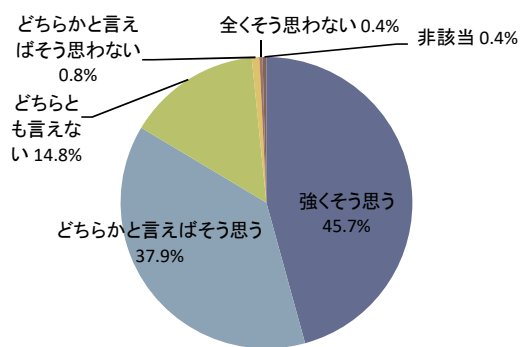
Q5 この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,864	39.4%
2	どちらかと言えばそう思う	1,849	39.1%
3	どちらとも言えない	679	14.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	206	4.4%
5	全くそう思わない	121	2.6%
6	非該当	13	0.3%
	合計	4,732	



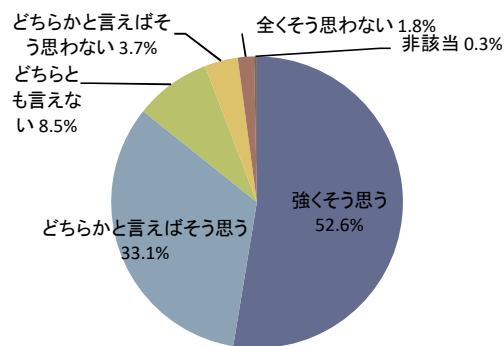
Q6 この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,163	45.7%
2	どちらかと言えばそう思う	1,793	37.9%
3	どちらとも言えない	700	14.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	40	0.8%
5	全くそう思わない	17	0.4%
6	非該当	19	0.4%
	合計	4,732	



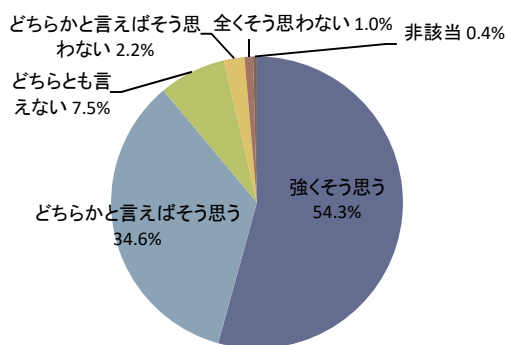
Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,489	52.6%
2	どちらかと言えばそう思う	1,568	33.1%
3	どちらとも言えない	400	8.5%
4	どちらかと言えばそう思わない	174	3.7%
5	全くそう思わない	85	1.8%
6	非該当	16	0.3%
	合計	4,732	



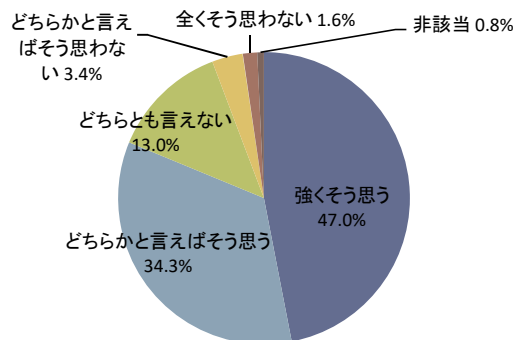
Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,569	54.3%
2	どちらかと言えばそう思う	1,638	34.6%
3	どちらとも言えない	353	7.5%
4	どちらかと言えばそう思わない	106	2.2%
5	全くそう思わない	45	1.0%
6	非該当	21	0.4%
	合計	4,732	



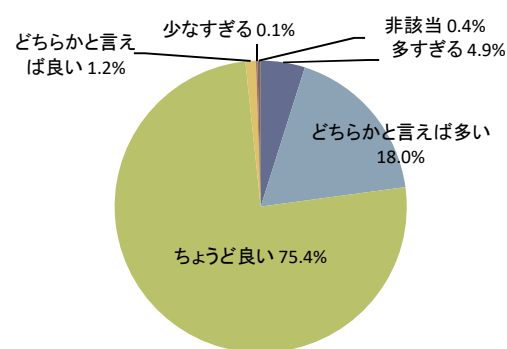
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,223	47.0%
2	どちらかと言えばそう思う	1,622	34.3%
3	どちらとも言えない	615	13.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	161	3.4%
5	全くそう思わない	75	1.6%
6	非該当	36	0.8%
	合計	4,732	



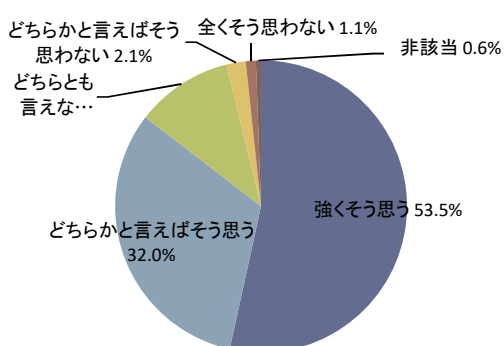
Q 10 この授業で課される課題の量は適切ですか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	232	4.9%
2	どちらかと言えば多い	850	18.0%
3	ちょうど良い	3,570	75.4%
4	どちらかと言えば良い	56	1.2%
5	少なすぎる	7	0.1%
6	非該当	17	0.4%
	合計	4,732	



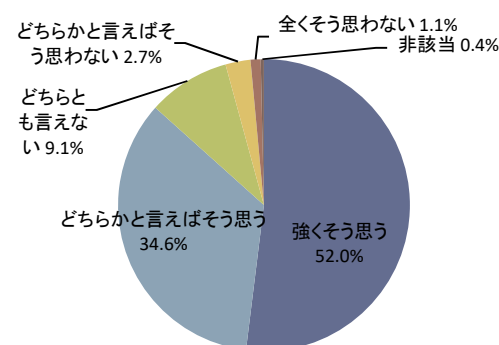
Q 11 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,530	53.5%
2	どちらかと言えばそう思う	1,514	32.0%
3	どちらとも言えない	508	10.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	100	2.1%
5	全くそう思わない	53	1.1%
6	非該当	27	0.6%
	合計	4,732	



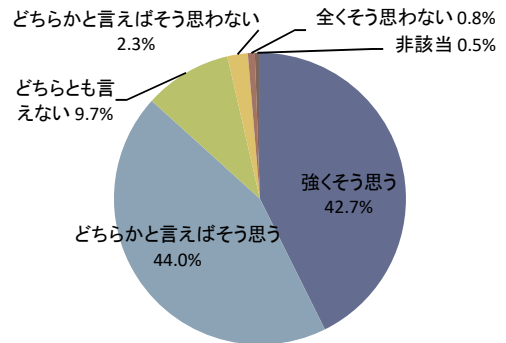
Q 12 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,460	52.0%
2	どちらかと言えばそう思う	1,639	34.6%
3	どちらとも言えない	432	9.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	130	2.7%
5	全くそう思わない	54	1.1%
6	非該当	17	0.4%
	合計	4,732	



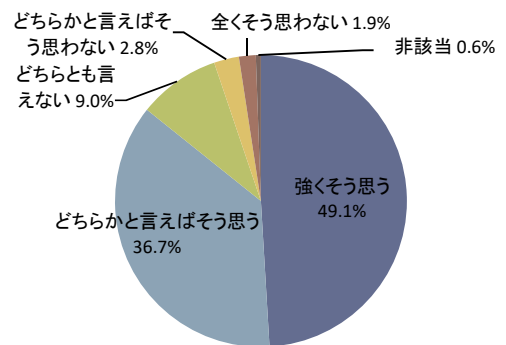
Q13 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	2,019	42.7%
2	どちらかと言えば思う	2,083	44.0%
3	どちらとも言えない	460	9.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	107	2.3%
5	全くそう思わない	37	0.8%
6	非該当	26	0.5%
	合計	4,732	



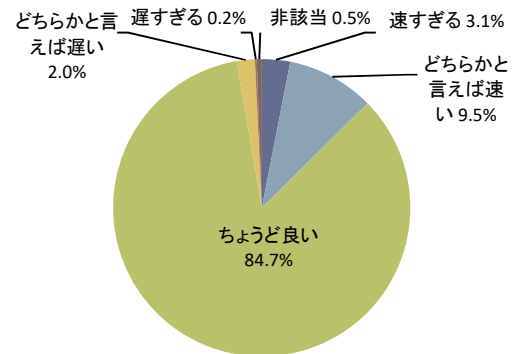
Q14 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	2,322	49.1%
2	どちらかと言えば思う	1,735	36.7%
3	どちらとも言えない	428	9.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	131	2.8%
5	全くそう思わない	88	1.9%
6	非該当	28	0.6%
	合計	4,732	



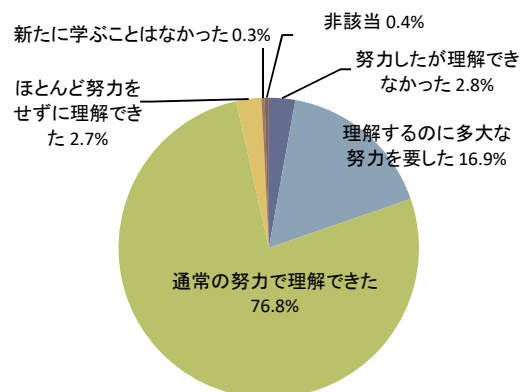
Q15 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	146	3.1%
2	どちらかと言えば速い	451	9.5%
3	ちょうど良い	4,007	84.7%
4	どちらかと言えば遅い	93	2.0%
5	遅すぎる	10	0.2%
6	非該当	25	0.5%
	合計	4,732	



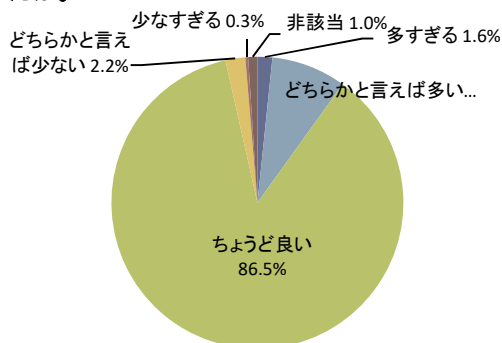
Q16 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	努力したが理解できなかった	134	2.8%
2	理解するのに多大な努力を要した	799	16.9%
3	通常の努力で理解できた	3,634	76.8%
4	ほとんど努力をせずに理解できた	128	2.7%
5	新たに学ぶことはなかった	16	0.3%
6	非該当	21	0.4%
	合計	4,732	



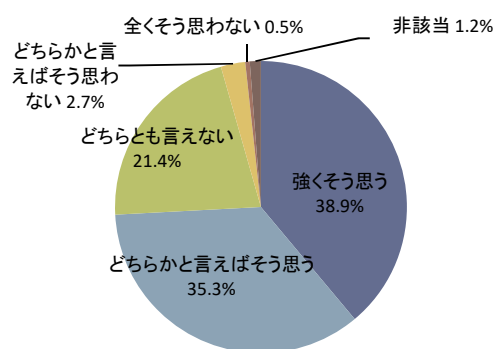
Q17 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	77	1.6%
2	どちらかと言えば多い	393	8.3%
3	ちょうど良い	4,095	86.5%
4	どちらかと言えば少ない	104	2.2%
5	少なすぎる	15	0.3%
6	非該当	48	1.0%
	合計	4,732	



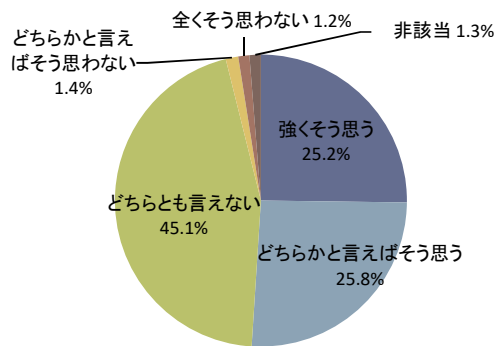
Q18 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,841	38.9%
2	どちらかと言えばそう思う	1,669	35.3%
3	どちらとも言えない	1,012	21.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	128	2.7%
5	全くそう思わない	24	0.5%
6	非該当	58	1.2%
	合計	4,732	



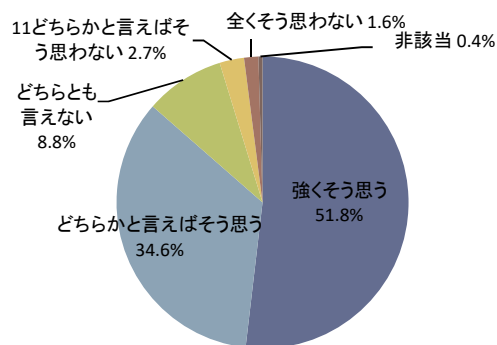
Q19 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1,192	25.2%
2	どちらかと言えばそう思う	1,222	25.8%
3	どちらとも言えない	2,134	45.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	66	1.4%
5	全くそう思わない	58	1.2%
6	非該当	60	1.3%
	合計	4,732	



Q20 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

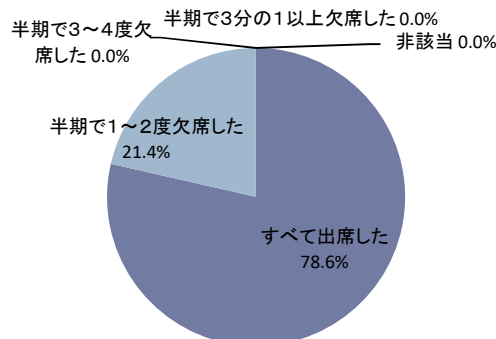
No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	2,453	51.8%
2	どちらかと言えばそう思う	1,637	34.6%
3	どちらとも言えない	417	8.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	129	2.7%
5	全くそう思わない	75	1.6%
6	非該当	21	0.4%
	合計	4,732	



② 大学院

Q 1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	11	78.6%
2	半期で1～2度欠席した	3	21.4%
3	半期で3～4度欠席した	0	0.0%
4	半期で3分の1以上欠席した	0	0.0%
5	非該当	0	0.0%
	合計	14	



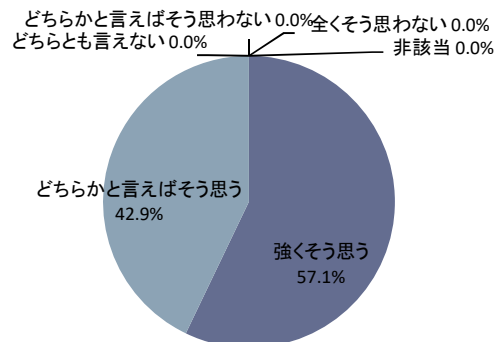
Q 2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	0	
2	週1～2時間	0	
3	週30分～1時間	0	
4	週0分～30分	0	
5	全くしていない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

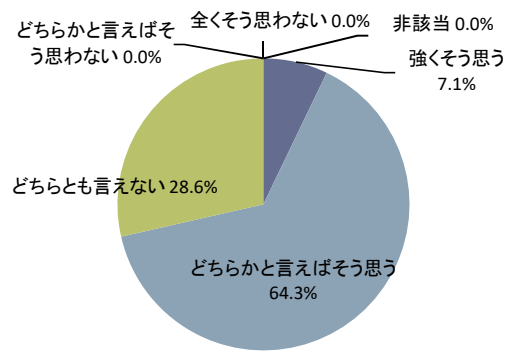
Q 3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	8	57.1%
2	どちらかと言えばそう思う	6	42.9%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



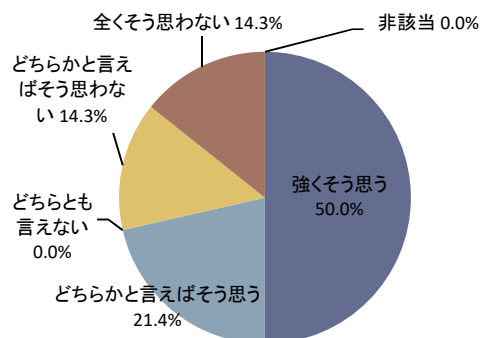
Q 4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	1	7.1%
2	どちらかと言えばそう思う	9	64.3%
3	どちらとも言えない	4	28.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



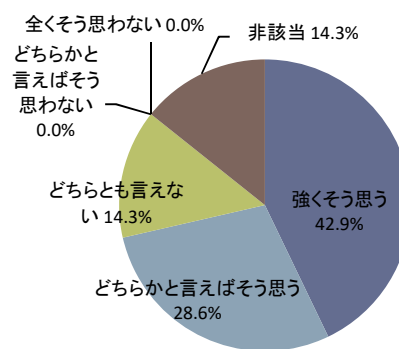
Q5 この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	7	50.0%
2	どちらかと言えばそう思う	3	21.4%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	2	14.3%
5	全くそう思わない	2	14.3%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



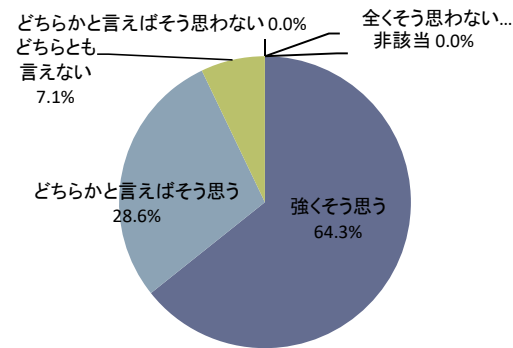
Q6 この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	6	42.9%
2	どちらかと言えばそう思う	4	28.6%
3	どちらとも言えない	2	14.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	2	14.3%
	合計	14	



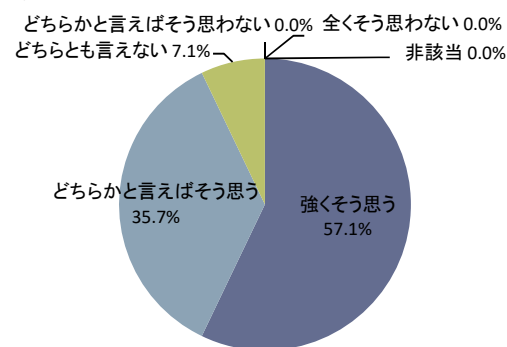
Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	9	64.3%
2	どちらかと言えばそう思う	4	28.6%
3	どちらとも言えない	1	7.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	8	57.1%
2	どちらかと言えばそう思う	5	35.7%
3	どちらとも言えない	1	7.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



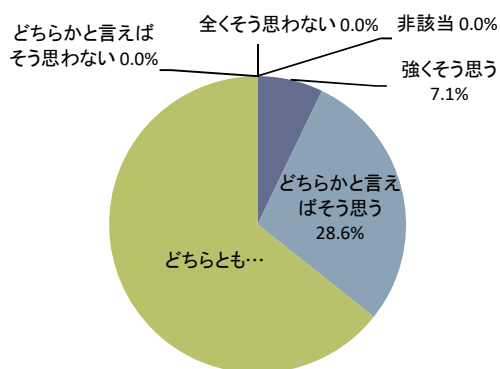
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	0	
2	どちらかと言えば思う	0	
3	どちらとも言えない	0	
4	どちらかと言えばそう思わない	0	
5	全くそう思わない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

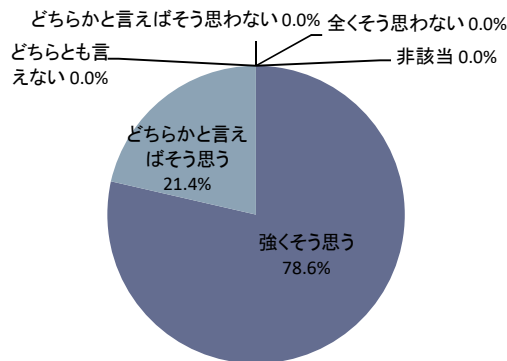
Q 10 この授業で課される課題の量は適切ですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	1	7.1%
2	どちらかと言えば思う	4	28.6%
3	どちらとも言えない	9	64.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



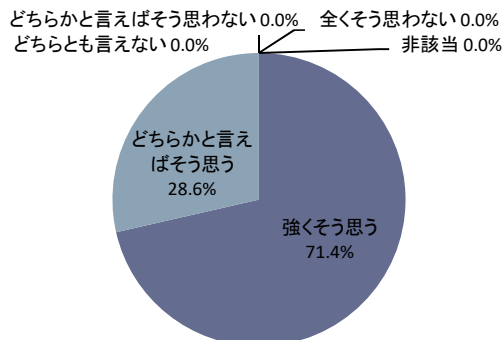
Q 11 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	11	78.6%
2	どちらかと言えば思う	3	21.4%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



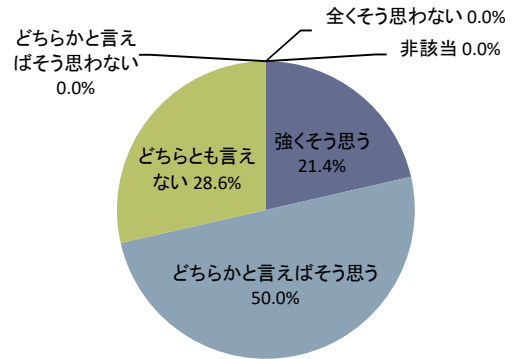
Q 12 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	10	71.4%
2	どちらかと言えば思う	4	28.6%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



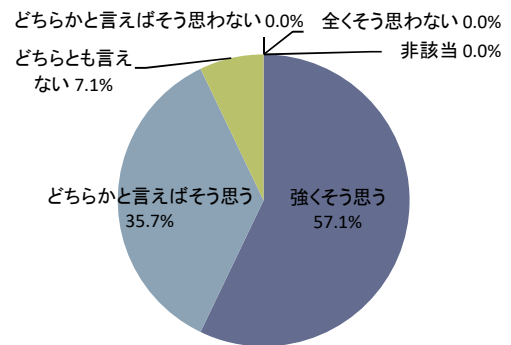
Q13 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3	21.4%
2	どちらかと言えばそう思う	7	50.0%
3	どちらとも言えない	4	28.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



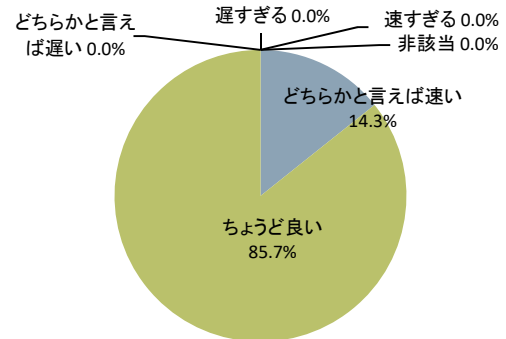
Q14 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	8	57.1%
2	どちらかと言えばそう思う	5	35.7%
3	どちらとも言えない	1	7.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



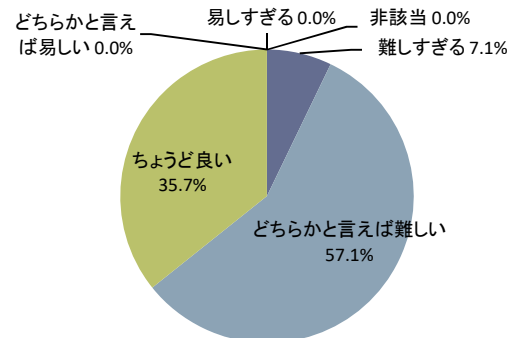
Q15 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	0	0.0%
2	どちらかと言えば速い	2	14.3%
3	ちょうど良い	12	85.7%
4	どちらかと言えば遅い	0	0.0%
5	遅すぎる	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



Q16 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	難しすぎる	1	7.1%
2	どちらかと言えば難しい	8	57.1%
3	ちょうど良い	5	35.7%
4	どちらかと言えば易しい	0	0.0%
5	易しすぎる	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



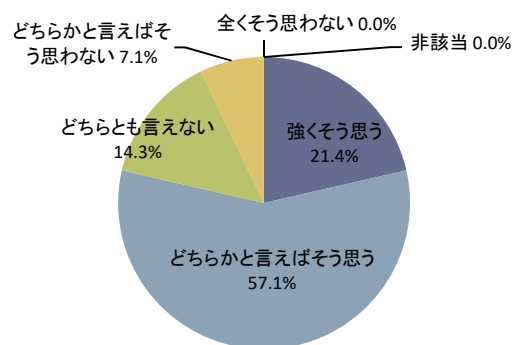
Q17 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	0	
2	どちらかと言えば多い	0	
3	ちょうど良い	0	
4	どちらかと言えば少ない	0	
5	少なすぎる	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

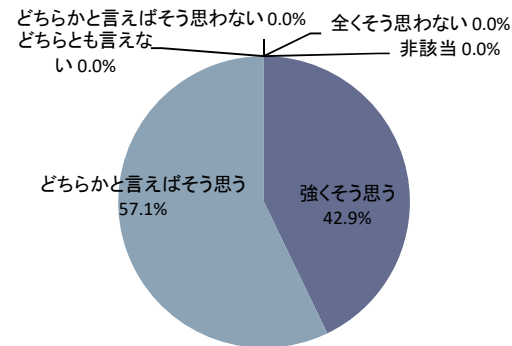
Q18 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3	21.4%
2	どちらかと言えばそう思う	8	57.1%
3	どちらとも言えない	2	14.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	7.1%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



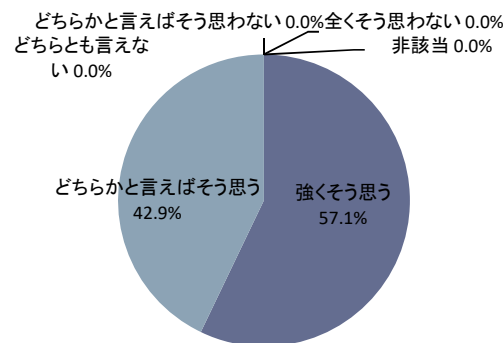
Q19 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	6	42.9%
2	どちらかと言えばそう思う	8	57.1%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



Q20 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	8	57.1%
2	どちらかと言えばそう思う	6	42.9%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	14	



3. 2021 年度前期「授業改善のための学生アンケート」みなさんの声に応じて

学生の皆さんが回答してくれたアンケート結果は、個人が特定されないように集計された後、自由記述も含めて、担当教員へすべて確実に届いています。この章では、アンケートを通じて届けられたみなさんの声に応じて、授業毎に担当教員からのメッセージをお戻しします。

① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ

子どもとファンタジー	井辻 朱美	2021/水 2/前期
<p>【自由記述について】</p> <p>「オンデマンドの差異に配布される資料が多い」「課題が多い」という声が少しあった。児童文化学科以外の学生も多かったので、どういうふうに課題を出したらいいのか、迷いがあった。また「人数が多い」という声もあったが、これは本当にそう思う。来年は 80 名程度を越えたらオンラインにしたい。</p>		

絵本制作研究 I	いとう ひろし	2021/火 2/前期
<p>【Q7、12、22 課題等の説明について】</p> <p>課題の説明は最低限に抑えていました。説明し過ぎると課題制作の方向を限定してしまい、課題を深く、自由に考える機会を奪うことになるからです。(詳しく説明すると、その説明の通りに安易に課題をこなしてしまいがちで、それでは意味がありません。)</p> <p>また、この授業では正解というものが無いので、いくつもの考えを同時に、同等に述べることになりました。その点は分かりづらかったと思いますが、授業の性格上仕方がないことです。</p>		
<p>【Q22 課題量について】</p> <p>課題の量は妥当なものです。この授業は、自ら描くことで絵本の表現の特徴を考え、理解していくもので、そのために最低限の量です。また、個々の課題は繋がっていて、全体で絵本表現の基礎が理解できるように組み立てられています。(全出席が前提というのもここからきています)</p>		
<p>【Q22 評価について】</p> <p>全ての課題の提出と出席を評価の基準として、それを B とするという事には全く問題がありません。この場合の基準は、評価する上での最低の条件という意味で、課題の内容等は含まれていません。そこから課題、発言、出欠席等により、加点減点しています。教師側は点数で評価を下すことになっているので、仮に同じ B でも差が生じています。また、絵の評価に関しては、ここは絵の描き方の授業ではないので、巧みでない絵に対して低い評価はしないということです。確かに、この授業では発想は大事です。しかもつ</p>		

と大事なものは、その発想をどのように表現するかです。この点で絵が得意でない人の方が、得てして面白い表現を考えることが多いのも事実です。とはいえ、丁寧に時間をかけた絵に関しては相応の評価をしています。

ちなみに、他の大半が A なのに B はおかしいというのは、正当な考えとは言えません。評価は各々の教師に一任されているものであり、高い評価をつけろという要求をされた覚えもありません。もし仮に他が B でここだけが A であった場合も、同じようにおかしいとなりますか？さらに C 判定が落第点だという指摘も私の認識とは違っています。

【Q22 フィードバックについて】

遠隔授業での課題について何もフィードバックされていないというのも間違っています。それまで及びそれ以降の課題との関連で、記憶で描く、想像で描く、詩等の外部からの条件で描く、その違いについては話しています。また、直接話題にすることはなかったかもしれませんが、絵にすることの意味などの話にも関わってきています。

教育課程論（中・高）	今井 福司	2021/月5/前期
------------	-------	------------

【Q22 について】

テスト範囲が広がった、広すぎたなどのご指摘、ありがとうございます。本授業で扱う内容は教員採用試験でも頻繁に出題される内容で、かつ漠然と把握しているだけでは大刀打ちできない歴史の話題が多く出て参ります。また、レポート課題などで成績評価をすることは可能かもしれませんが、占領期から現在までの範囲をまんべんなく扱って、きちんと論じるのは授業の最終レポート程度の紙幅では全くもって不十分になる可能性が高いと判断しています（たとえば 1947 年の学習指導要領だけを論じたところで本授業の内容を理解できているかは疑問とせざるを得ませんし、授業の内容を踏まえて、どのようなカリキュラムマネジメントをするかという問いを設定してもよろしいかも知れませんが、この場合は受講者自身の興味関心に大きく依存するため、こちらも全体を理解できたかどうかについては適切な測定方法となり得ないと考えています）。

よって、しばらくの間は最終試験を実施する予定で考えておりますが、試験について、コロナ禍の中で慣れていないケースも多くあるかと思しますので、試験前のスケジューリングや模擬練習をきちんと取り組んで参りたいと思います。

情報資源組織演習（分類）	今井 福司	2021/火3~5/前期
--------------	-------	--------------

【Q22 について】

雑談について、特定の話題に偏ってしまい興味をなくすことがあったとの件、仰る通りです。オンライン授業では、雑談の提示タイミングが一定になっていることもあって、こちらが意図したブレイクの効果が出ていなかったこともございました。この話題

について興味があるという学生さんもいらっしゃいましたので、話題を多様に提示できるよう、十分に気をつけたいと思います。

図書館情報学概論	今井 福司	2021/火5/前期
【Q22 について】		
<p>もう少し説明を増やして欲しいとの指摘、ありがとうございます。特に今季はオンライン授業になってしまった時期が長かったため、説明時間も不足しており、ご不便をおかけしました。また、重要用語の解説を穴埋めにして頂きたいとのことでしたが、その場合試験前に穴埋めだけ理解しようとしてかえって説明の不備が出てくること（実際に穴埋めをしていたところで、単語のみを列挙して日本語の説明になっていない回答も見受けられました）から、現時点では大きな変更は考えておりません。それから例えたことによってわからなくなる事例が生じるとのご指摘は、仰る通りだと思います。教員の説明を洗練させて混乱が生じないよう、精進したいと思います。</p>		

ホスピタリティの英語初級Ⅰ	島田 由香	2021/火水木1/前期
【Q22 の「少し授業中のテンポが速かったこと」「少し進行度が早く、課題の量が多かったところ」「Zoom が長い」という意見について】		
<p>改善すべく、Zoom 時間を短くし、残りの時間を復習、課題に取り組む時間にするように調整したい。進行度をゆっくりして、学生の負担を減らす。コミュニケーションをよりとり、学生の負担を確認し、その都度、調整していく。</p>		

ライティングⅠ	末廣 みどり	2021/月3/前期
【Q22 の「もう少し宿題を減らしてしてほしい」という意見について】		
<p>語彙力と文法力をつけることは、正しい英文を書く際に、必須事項となりますので、宿題が少し多いと思われるかもしれませんが、頑張って課題の提出をしましょう。今年度末には、かなり語彙力と文法力がついたことを、実感できることでしょう。</p>		

哲学Ⅰ	デソーザ アルン プラカシュ	2021/水1/前期
【Q10 について】		
<p>課題が多かった時もあったが、対面形式の評価基準の影響があったから、遠隔授業になった際に、変更すべきであった。</p>		
【Q16 について】		
<p>学期中に不安や不明なことが多く、内容を深めることも難しかった。時間と空間の制限をこえて、受講者は積極的に努め、寛大な態度で授業に励んでいたことは、励ましに</p>		

なった。

【Q17 について】

春学期の哲学受講者は熱心で、勉強に対する意欲が確かにあった。対面—遠隔—対面—遠隔という形の不定な授業方法だったからかもしれないが、安定した授業の雰囲気ではなかった。

【Q19、22 について】

担当教員としてもやることが多くて、受講者の実力も興味をも把握しつつ、学びの場を共有できるように努力したはずだった。そもそも内容が重い内容の科目であるため、パワポ・資料などは重かったであろう。学期中に受講者のレスポンスも良かったので、スムーズに進んでいると思った。学期末の振り返りの結果、もう少しペースを落とし、ゆっくり進んだ方が良かったと思う。内容も濃かったので、受講者のペースに合わせても良かったかもしれない。

保育体験ⅡA	土橋 久美子	2021/火4、5/前期
<p>【Q22 の「保育園訪問が学期末だったので、期末テストと重なりレポートが大変でした」という意見について】</p> <p>期末テスト期間は、テスト又は授業という扱いです。保育体験は、体験先との調整もあり、テスト期間、授業期間になってしまうことはいたしかたないと思います。レポート作成も、5日間という期間をしっかりと確保しており、各自の取り組み体制の整備が必要だと感じています。後期に関しては、期末テスト期間をはずしており、改善しています。（前期は、コロナ禍ということもあったかと思いますが）</p> <p>【Q22 の「課題が多すぎる上に期限が短い。他の授業との兼ね合いも～」という意見について】</p> <p>保育体験は1単位、45時間の学修であります。体験日2日、振り返り日2日、事前指導3日が前期行われており、日数的にも多いということはなく、レポート課題も5日間、設けていました。本来なら、体験日の次の日にレポートの提出が必須となるところ、5日間も期間を作っていますので、学生への学修時間の周知をしっかりとしていくことが必要だと思っています。2コマで1単位45時間は、学びの日数、時間について考えても、妥当なものと考えています。単位数と学修時間の関係性を今後も学生自身にお伝えしていきたいと思っています。</p>		

初等教育基礎演習A	土橋 久美子	2021/木1/前期
<p>【Q22 の「課題が多すぎる点」という意見について】</p> <p>1単位45時間の学修時間について、学生にしっかりと説明し、課題にかける時間も具体的に伝えていくようにしたいと思います。</p>		

【Q23 の「先生方からの確認ミスが多かった」という意見について】

前期は、途中から遠隔となり、教員 3 人がそれぞれのグループを担当しているので伝言事項がうまく伝わっていないことがあったかもしれません。疑問に思ったことなどは、常に連絡を取ることができるよう、メールアドレスも掲示していました。今後も伝言もれがないよう、努めていきたいと思います。

領域表現

土橋 久美子

2021/金 4/前期

【Q22 の「授業回数が少ない」という意見について】

1 単位 45 時間の学修時間について、学生にしっかり説明していきたいと思います。

領域表現

土橋 久美子

2021/金 5/前期

【Q22 の「課題が多すぎる」という意見について】

この授業は 1 単位で 45 時間学修時間が必要です。授業 8 回であり、大学の授業時間数を考えると、学生自ら課題・予習・復習にかかる時間は多くなります。その為、課題も学修の為のものであるので、課題への取り組みに関しては、他の科目とも各自しっかり調整を行っていただきたいと思います。

【Q28 の「ネットが繋がらなくなることもある」という意見について】

ネット環境に関しては、再三にわたりルーター貸し出しなど、アドバイスをしております。各自、ルーター貸し出しをお願いするなど、学生個人が大学へ問い合わせる姿勢も身につけていただきたいと思います。

初等社会科指導法

中田 正弘

2021/月 1、3/前期

【Q21 模擬授業について】

・理論、指導案作成、模擬授業、振り返りという流れで授業を組み立ててきました。その流れがスムーズであったということはいれしく思います。

【Q22 資料について】

・本授業は、テキストに加え、社会科指導法についてよりよく理解してもらうため、補助説明の PPT や指導案のサンプルなどの資料を配布してきました。テキストと資料の関連性をより分かりやすく示すなど、さらに改善を加えていきたいと思います。

教育課程論（小）	中田 正弘	2021/月 4/前期
<p>【Q21 海外の教育に対する関心について】</p> <p>・相対的な視点をもって学校教育や教育課程を理解していくことは重要であり、その意味で、オランダなどの海外の教育課程を紹介しました。今後も皆さんの視野が広がるように授業を進めていきたいと思ひます。</p> <p>【Q22 文章によるまとめが欲しいとの意見について】</p> <p>・オンラインの授業でしたが、できるだけ少人数の意見交換を入れ、まとめとして学生にコメントを書いてもらい、それに返信をする方法をとってきました。さらに理解を深める資料を用意していきたいと思ひます。</p>		

基礎演習（古典）Ⅰ	平沢 竜介	2021/木 1/前期
<p>【Q22 の「どの点で定家が選んだ理由が分からなかった」という意見について】</p> <p>もう少し具体的な話を聞かないと、この点については答えられません。</p>		

J-E Translation Ⅰ / ⅢⅢ	逸見 シャンタール	2021/木 2、3/前期
<p>【Q22 について】</p> <p>「緊急事態宣言が発令され 7 月 14 日以降の登校控えるように発表されたにもかかわらず先生が対面でのテストをしたことは極めて危険でありました。このような措置を取った先生と許可をした大学側に改善を要求します。」このことに対して担当者逸見シャンタールは深くお詫びを申し上げます。原因は私が試験の日にちを間違えて予定していたことにあります。決して大学側がそのことを積極的に勧めていた訳ではなかったことをご理解いただけますと幸いです。今後コロナの状況により試験ができない場合は違う手法を取り、学期末の評価を行います。今回は私の不注意により危険な思いをさせてしまいましたことを反省し、改善を行って行きます。率直なご意見をどうもありがとうございました。</p>		

社会福祉と私たち	松本 方哉	2021/水 3/前期
<p>講義にご参加下さった皆さん、お元気でしょうか。この度はアンケートで改めての叱咤激励をいただきありがとうございました。</p> <p>配布資料については、最初からなるべく出さないで進めようと考えておりました。資料は読んだ気になるだけなので、講義を聞いて欲しい、という思いでした。メールのご質問や、疑問・質問へのお答えですが、私の計算外だったのは 90 人近い方からいただくと、それに答えているだけであつという間に時間がなくなるという点でした。</p> <p>お答えさせていただいた方は分かれたと思ひますがお答えは、いずれも読むのに 3</p>		

分はかかる分量で、書く方は15分はかけています。私の質問への対応は、基本的にすぐ答えが必要なものは先に回す。後々の授業で答えが分かるものや、まだ質問に答えるのは早い（基礎知識が足りないだけでこれからの講義で補えると考えるもの）は、あえて答えない（この方針は講義の中で何度か述べました）というものでしたが、それでも物理的にはみ出してしまった方々がおられるのは事実でそこは申し訳なく思っていますし、反省して、今後に生かす何か手がないかを考えています。

後期は「国際関係論A」という科目をお教えしますが、ここでも、懲りずに質問、疑問を取ることにしております。皆さんが疑問を持つこと、質問を持つことが皆さんの学生生活をより豊かにすると信じるからです。何か、こうしたらどうですかということがあれば、お教えてください。喜んで参考にいたします。（アドレスはご存知ですね）では、どうぞ、福祉する心を忘れずに、日々の生活を充実してお過ごしください。

統計データの理解と活用	宮下 孝広	2021/月3/前期
<p>内容から言って難しい部分もあったとは思いますが、総じて平均的な評価だったので、おそらく熱心に取り組んでくれた方々が反応してくれたおかげではないかと思う。自由記述で、説明や対応が丁寧だったとのコメントには、とても安心した。少しでも理解が深められたのなら、幸いである。授業回ごとのねらいや学習内容をもっと明確に提示して、学んだ成果を確認できるような工夫が必要だったと考えている。</p>		

学校と発達	宮下 孝広	2021/火2/前期
<p>集計結果を見る限り、概ね平均的な評価をいただいたのではないかと感じている。自由記述から、スライド・ノート・図表又はテキストの資料によるオンデマンド型の授業であったが、各自の自学自習の努力により、理解を深めることができたのではないかと思う。リアクションのいくつかを匿名で紹介することで、他の受講者が同じ内容をどのように理解したのかを知ることができ、学びにつながったというコメントをいくつかもらうことができたことは、望外の喜びである。</p> <p>対面授業でも、リモート授業と同じく400字程度のコメントを課題とした点については、講義科目の教室外での学習時間を考えれば、決して過大なものではなかったと確信している。</p>		

初等教育基礎演習A	宮下 孝広	2021/木1/前期
<p>総じて評価が高かったという印象だが、3人の担当教員のローテーションで、さまざまな課題に取り組むという、この授業ならではの特色を評価してもらったのではないかと感じている。ゼミ形式の授業の最初の経験ということで、やりがいを感じられたとしたら、たいへん幸いである。</p>		

② FD 推進委員会からのメッセージ

「授業改善のための学生アンケート」をはじめ、よりよい学びについて考える様々な機会を提供していく役割を担っているのがFD 推進委員会です。FD 推進委員会からは、アンケートそのものの適切性についての設問(Q25)で寄せられた学生のみなさんの声に応えます。また、アンケート結果からみられる全学的な傾向を踏まえて、みなさんへよりよい学びのためのメッセージをとどけます。

「Q25 この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。」に対する回答は、以下のとおりでした。

「はい」	4,392 件	92.5%
「いいえ」	39 件	0.8%
「無回答」	315 件	6.6%

「Q26 (Q25 「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述しなさい。」に対して、次のようなコメントが寄せられました。

アンケートについてのコメント

リモート授業に対応したアンケートではないと思いました。

他にも同趣旨のコメントを10件近くいただいています。2021年度の授業は、原則として対面で開始されましたが一部遠隔の授業もあり、また緊急事態宣言の発出に伴って、学期途中にほとんどの授業が遠隔に変更になるなど、質問項目と授業形態のズレが多く生じていたことがうかがえます。授業評価アンケートの最大の目的は、今後の授業の改善ですので、今後のありうるさまざまな授業形態に対応できるよう、どのように質問項目を立てればよいか、よりよい形を探っていきたいと思います。

4. 2021 年度前期 「授業改善のための学生アンケート」 顕彰授業

2010 年度より全学で実施してまいりました「授業改善のための学生アンケート」に、2017 年度より集計結果を活用した顕彰制度が導入されることになりました。アンケートの結果は、これまでも個々の授業改善に役立てられてきましたが、今後は高評価を得た授業を公表し、その授業の優れている点を大学全体で共有してまいります。

授業のあり方は授業の数だけありますが、顕彰された授業における工夫を知ることにより、よりよい学びのためのヒントが得られる機会になればと願っています。

2021 年度前期 顕彰授業 → [こちらをご覧ください](#)

2021 年度前期 顕彰授業における工夫 → [こちらをご覧ください](#)